

ながのけん

N A G A N O

2012年

特集

ふるさとの森林づくりをさらに進めるために

～森林税の継続にご理解とご協力をお願いします～

食べて実感 「おいしい信州ふーど（風土）」



ふるさととの森林づくりをさらに進めるために

森林税の継続に

ご理解とご協力をお願いします

次期森林税のポイント

I 緊急に手入れが必要な里山の
間伐を引き続き行います

県内には、依然として緊急に間伐を必要とする里山が多く存在します。こうした里山を放置すると、樹木の幹や根が十分育たないため、集中豪雨による土砂災害や風や雪などによる被害を受けやすくなり、森林の持っている機能が低下する原因になります。

このため、水源の涵養や土砂災害の防止を目的とした里山の間伐について、引き続き集中的に実施してまいります。



▲間伐作業

II 里山の間伐に加え間伐材の
搬出と利活用も進めます

現行の森林税を活用した里山の間伐により、社会全体の共通の財産である森林を健全な姿で次の世代に引き継ぐための取り組みが進みました。

一方で、間伐材の多くは林の中に残されています。

このままでは、地域の方々が、自ら行う森林づくりが進まず、林業の活性化や県産材の有効活用につながらない恐れがあります。

そこで次期森林税では、間伐材を搬出して、木質バイオマスなどさまざまな用途に地域ぐるみで利活用する取り組みを促進します。

また、こうした取り組みをとりまとめる人材を育成し、県内各地の特色を活かした継続的な森林づくりを進めてまいります。



▲搬出した間伐材の利用例

県では、平成20年度に導入した「長野県森林づくり県民税(森林税)」を平成25年度以降も継続し、里山の森林づくりをより一層進めていくこととしました。税額・税率は現行どおりとし、県民の皆さまの声や森林・林業を取り巻く情勢を踏まえ、使途の見直しを行い、これからも森林税を有効に活用してまいります。

III 市町村が行う森林づくりを
引き続き支援します

地域の実情に応じて市町村が行うさまざまな森林づくりに向けた税の活用事業についても、一部見直しを行います。近年の水源林の保全に対する関心の高まりを踏まえ、市町村が水源を管理するため森林を取得する取り組みを新たに税の活用対象とするなど、県と市町村が力を合わせて森林づくりを進めてまいります。

森林税を納めるのは誰?

個人では、長野県内に住所がある方、家または事務所をお持ちの方、法人では長野県内に事務所等がある法人に負担いただきます。

個人の場合、県民税の均等割をお納めいただいている方(県民の約半数)に納付をお願いします。

※次の方には課税されません

- ・生活保護法の規定による生活扶助を受けている方
- ・前年の合計所得金額が125万円以下の障害者、未成年者、寡婦または寡夫の方
- ・前年の合計所得金額が市町村の条例で定める金額以下の方

森林税の税額は?

個人は年額500円です。法人は法人県民税の均等割額の5%相当です。いずれも現行の森林税と変更ありません。

納税方法は?

個人の場合、住民税(県民税)が給与または年金から特別徴収されている方は、その中に含まれます。そうでない方は、市町村から送付される納税通知書により納付をお願いします。法人の場合、県民税均等割の申告納付時に上乗せして納付をお願いします。

Q&A 森林税

森林税の税収規模と主な使い道は?

税収は、従来とほぼ同規模、1年間で約6億5千万円を見込んでいます。税収の多くは、引き続き里山の間伐に活用する予定です。

集めた森林税は きちんと使われている?

毎年度、森林税を何にどれだけ使い、どんな成果があったかについて、「みんなで支える森林づくり県民会議」などの第三者機関による検証を行い、結果を公表していきます。

森林税継続の検討経過を教えてください?

県では、県民の皆さんや企業等へのアンケートを行い、会議みんなで支える森林づくり県民会議・地域会議、長野県地方税制研究会による議論を踏まえ、平成24年8月に次期森林税についての考え方を公表しました。その後、パブリックコメントや県民説明会等によりご意見をいただき、これらに基づいて、税額や使途などを慎重に検討しました。

問い合わせ先/
○森林税を活用した森林づくりに関すること
林務部森林政策課 ☎026-235-7261
○税の仕組みに関すること
総務部税務課 ☎026-235-7048

これまで実施してきた

森林税活用事業

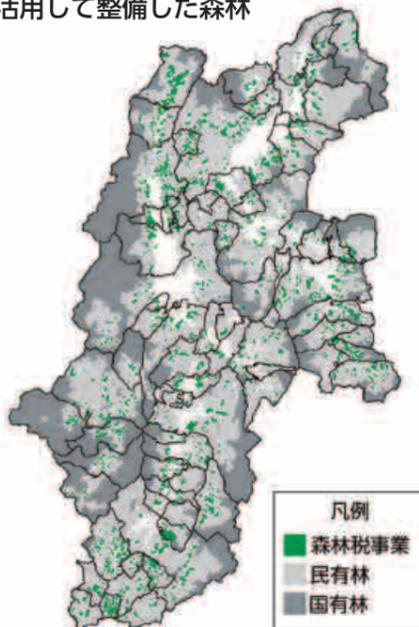
1 手入れの遅れている里山での間伐を推進しました

森林税を活用して、平成24年度末までの5年間で2万2500ヘクタールの間伐が実施される見込みです。これは、諏訪湖17個分の広さに相当します。県民の皆さまに身近な集落周辺の里山で集中的に間伐を行い、水源の涵養や土砂災害防止等の機能回復を図り、暮らしの安全・安心に大きく貢献しました。

また、「森林の集約化」に取り組み、約1万5000人が所有する森林について、集約化が完了する見込みです。個人が所有している小規模な森林を取りまとめ、森林整備に対する同意をいただくことで、里山の間伐作業が計画的に進むようになります。集約化の実施主体のうち6割は地域住民の方々が中心の「自治会組織」であり、里山の間伐や集約化を通して、身近な森林を自ら整備し、管理していくことの大切さが広がりつつあります。

また、里山の森林づくりを担う人材の育成にも森林税が活用されました。

平成20年度から23年度に森林税を活用して整備した森林



間伐 前



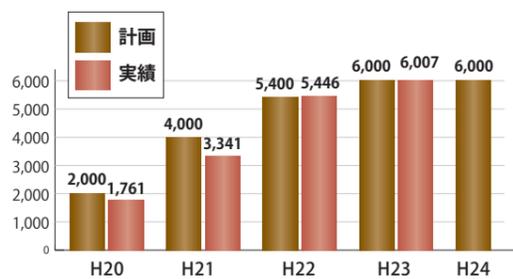
間伐前のうっそうとした森林

間伐 後

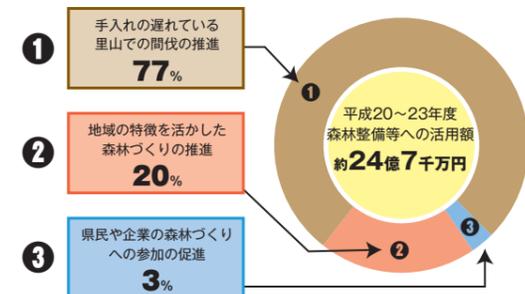


間伐により光が降り注ぐ里山に生まれ変わりました

間伐面積の推移 (単位:ヘクタール)



森林税の使途の割合



2 地域の特徴を活かした森林づくりを進めました



松くい虫被害の拡大防止のため、伐採木を歩道に活用

野生鳥獣の出没を防止するための森林整備や松くい虫などの森林病害虫対策等、市町村が地域の特徴や住民のニーズを捉えて実施する森林整備についても森林税を活用しています。また、地域の関係者(森林所有者・製材工場・工務店など)が協力して、間伐材を利用する仕組みづくりを進めました。

「森林の里親促進事業」では、社会貢献活動に熱心な企業・団体と地域を県が結び付け、資金や労働力の面で互いに協力しあう森林づくりの取り組みを促進しました。この9月末までに80を超える森林の里親契約が締結され、森林整備には昨年度だけで延べ6000人が参加するなど、企業等と地域の交流が進みました。

県民や企業による森林整備や木材利用が、地球温暖化防止にどれだけ貢献したかを数値化し、その活動が「実感できる」「目に見える」制度として「長野県カーボンオフセットシステム※」などを構築しました。



県産材住宅と薪ストーブ

※カーボンオフセットは省エネなどの努力をしても削減できない二酸化炭素(炭素)カーボンを他の場所での削減により埋め合わせ(オフセット)すること

3 県民や企業の森林づくりへの参加を促進しました



木育活動

大人から子どもまで、木や森林について学び、触れ合う「木育活動」を進めました。児童生徒と地域の方々が協力して、木材を学校の壁に張る活動や木工教室の開催などを支援し、県産材の良さ、森林の大切さ、森林整備の必要性等について理解を深めていただきました。



森林の里親制度による森林整備活動



みんなで支える森林づくり県民会議

県民の代表の方々などで構成される第三者機関「みんなで支える森林づくり県民会議」や「みんなで支える森林づくり地域会議」(10地方事務所に設置)を開催しました。会議では、森林税の使い道や事業効果の検証が行われ、いただいた意見を事業に反映しました。

空から県民と自然豊かな信州を守る

長野県消防防災航空センター

近年の登山ブームの高まりに伴って増加する山岳事故や遭難、広い範囲が焼失してしまう林野火災や大規模な自然災害に、消防防災ヘリの機動力を活かして対応しています。

消防防災航空センターは、平成9年（1997年）に信州まつもと空港内に開設され、消防防災ヘリコプター「アルプス」により県民の暮らしを守り続け、今年で15年目を迎えました。

選抜された救急救助部隊

センターには、市町村消防本部から派遣された消防士7人に加え、操縦士2人と整備士3人等合計15人で長野県消防防災航空隊が編成されています。特に、7人の消防士は災害や事故現場の最前線で活動するため選抜された精鋭たちです。

センターでは、消防本部からの出動要請に応えるため、365日、日の出から日没までの緊急運航に備えています。風水害や地震発生時の情報収集、迅速な救急搬送、林野火災の消火、山や河川での救出救助など、これまでに約2000件もの緊急運航を実施してきました。

山岳救助の一翼を担って

日本全国には、都道府県と政令指定都市に消防防災ヘリコプターが73機配備されています。救助活動のための出動は、平成22年に全国で1959件ありました。「アルプス」は81件で、全国でもトップクラス。なかでも山岳救助は、長野県の消防防災ヘリコプターの特徴的な活動として、全国一の実績を誇っています。

厳しい訓練で救助技術を磨いています



上條 信男 消防隊長
高峻な山岳での救助活動では「アルプス」を安全に高く飛ばすため機体を軽くしなければなりません。そのため搭乗する消防隊員も通常の3人から、降下長と降下隊員の2人体制にする場合があります。隊員にかかる負担は増しますが、厳しい訓練により安全な救助活動を行っています。

「アルプス」という名前は、全国的にも通用し、誰でも山岳観光県「長野」を連想できることから名付けられました。機体には、「消防」の色である「赤」、「県旗」の色である「オレンジ」、長野県の空・森・雪を表す「青」「緑」「白」が使用されています。

■長野県消防防災航空センター
〒390-1132 松本市大字空港東9030 ☎0263-85-5512
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kikikan/kokucntr/katsudo.htm>

非常時に備え連携体制を確立

長野県では、「アルプス」に加えて、ドクターヘリ2機を運航しています。また、県警航空隊には県警ヘリ「やまびこ」と県政ヘリ「しんしゅう」が配備されています。

林野火災時には、速度が速い県警ヘリ「やまびこ」が状況調査を行い、消火タンクを搭載できる「アルプス」が消火にあたります。ドクターヘリは、コンパクトな機体で狭い場所での離着陸が可能です。また、「しんしゅう」には、ヘリコプターテレビ中継システムが搭載されており、災害時には現地の状況をリアルタイムで県庁に送信できます。各機がそれぞれの特性を活かして任務にあたっています。点検整備や出動要請が重なった場合などにも緊密な連携を図り事態に即応しています。

さらに、大規模特殊災害時には、他県との相互応援体制が確立されています。

昨年の大震災への対応では、3月11日に福島県へ飛んだ「アルプス」は、翌早朝発生した長野県北部の地震に伴い栄村に戻り、状況把握と調査を行いました。栄村の孤立者の救助には、京都市と大阪市の消防防災ヘリにあたってもらうなど広域連携体制が真価を発揮しました。

「アルプス」の実力

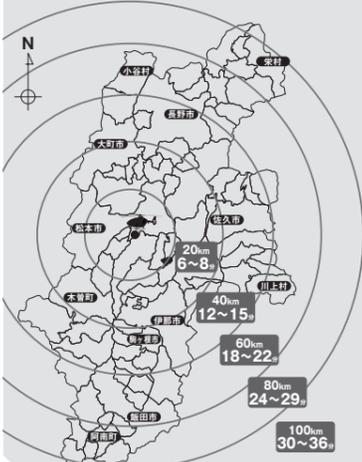
「日本の屋根」と称される日本アルプスをはじめ標高3000メートル級の山岳地帯と豊かな森林を有する長野県。「アルプス」には、その環境で活躍するための装備が満載です。双発タービンエンジンを搭載し、ホバリング性能が高く、約3300mの高度まで上昇することができます。さらに県独自の改造を施すことで「アルプス」の機体重量を軽くし、高高度での救助活動の安全性を高めています。また、巡航速度は時速約210キロ、航続距離は約600キロで、南北約200キロの県内全域を40分以内でカバーしています。

林野火災などに対応するための消火タンク（1225リットル）や救助隊員をワイヤーで降下させ、要救助者を収容するためのホイスト装置などが装備されています。

ホイスト装置



信州まつもと空港からの県内各地への所要時間

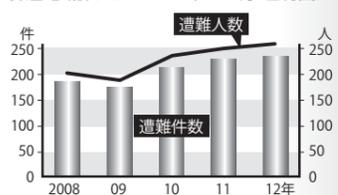


山岳遭難過去最悪！

より慎重な判断を

今年の県内の山岳遭難は、10月8日現在で遭難件数233件、遭難者数256人となっており、統計のある昭和29年以降最も多かった昨年（227件、251人）を既に上回っています。冬山シーズンは、いよいよ本番を迎えます。登山前には、気象情報をよく確認して行動計画を作成してください。また、登山中も最新の気象情報を常に入手して行動判断を誤らないようにしてください。

県内の山岳遭難 (県警地域課まとめ、2012年は10月8日現在)



太陽熱給湯はサンジュニア

エコ効果が見える！ 積算熱量計標準装備！
集熱効率がアップ！（当社比） 新型集熱器採用！

当社の事業が長野県の（平成24年度自然エネルギー自給コミュニティ創出支援事業）に選定されました

本社/須坂市須坂1595-1 ☎026(215)2600(代) フリーダイヤル0120-150-328 サンジュニア



フォト ながのけん

2012.07▶10



一日も早い復興を願って

昨年3月に発生した長野県北部の地震により被害を受けた栄村を、7月19日、天皇、皇后両陛下が訪問されました。両陛下は、栄村農村広場仮設住宅でいまだに避難生活を送る村民一人ひとりに、「お体を大事にしてください。」「大変でしたね。」などと声をかけられました。村では、震災復興計画に基づく村営住宅の建設を進め、希望者は年内に入居できる予定です。

長野県の教育行政の課題を検討

8月10日、教員の倫理向上策の検討や、採用・人事などの現行制度を検証する、「第1回教員の資質向上・教育制度あり方検討会議」が県庁で開催されました。知事は、「現場の先生や保護者、地域住民などの多様な声を反映できる仕組みを検討してもらいたい。」とあいさつ。今年度中に検討会議としての報告書をまとめ、知事と教育委員会に提言する予定です。

ものづくりの技を競う

若手技能者が全国一を競う「技能五輪全国大会」と障害のある方々による技能競技の全国大会「アビリンピック」が、10月に松本市・諏訪市・長野市で開催されました。全国から予選を勝ち上がり、日夜練習を重ねてきた選手たちが、その成果を余すところなく発揮し、技能を競いました。



箱山愛香選手・シンクロナイズドスイミング(チーム競技)5位入賞

長野県勢ロンドンで健闘

今年の夏、世界の注目を集めたロンドンオリンピック・パラリンピック。県関係では、オリンピック7人・パラリンピック2人の9人が出場し、熱戦を繰り広げました。日々トレーニングを積み、世界の舞台に立った選手たちに惜しみない拍手を。

大規模地震に備えて

9月1日の「防災の日」に合わせ、長野県地震総合防災訓練を実施し、職員や自衛隊員、医療関係者ら約120人が参加しました。訓練は、南海トラフの巨大地震が発生したという前提で、8月31日は発災直後、9月1日は生存率が急激に下がる3日目を想定して実施。刻々と変化する状況に応じて、模型を動かす図上訓練や人が搬送するヘリの飛行を調整する演習などを行い、被災情報の収集と的確かつ迅速な初動体制について確認しました。



新しい林業の形を信州から発信

9月14日、県・塩尻市・大学・民間企業が連携して、木質バイオマス発電施設を併設した製材工場を建設する計画、「信州F・POWERプロジェクト」を発表しました。この「F」は、Forest (森林)・Future (未来)・Factory (工場)から採ったもの。今年度は「信州自然エネルギー元年」。間伐材等を利用した発電の取り組みをスタートさせ、産学官が一体となって自然エネルギーの活用と林業活性化を推進します。

浅川ダムの定礎式を開催



9月19日、浅川ダム(長野市)の建設工事現場で定礎式を行いました。浅川ダムは、ダム底部から常時水を流し、洪水時以外は水をためない治水専用の穴あきダムで2016年度に完成予定です。

障害者虐待に関する 通報や相談を受け付け

障害者虐待防止法の施行に伴い、10月1日、県庁内に「長野県障害者権利擁護(虐待防止)センター」を開設しました。同センターには、3人の担当者を配置し、関係機関と連携して市町村とともに虐待の予防や早期発見、虐待を受けた障害者等への支援を行います。市町村にも同様の窓口が設置され、通報や相談に対応しています。



「おいしい信州ふーど(風土)」

「おいしい信州ふーど(風土)」とは、信州の豊かな風土から生まれた農畜産物を「プレミアム」「オリジナル」「ヘリテイジ」の三つの基準で厳選した統一ブランドです。

I 「プレミアム」

原産地呼称 管理制度

ワイン・日本酒・焼酎・シードル※・米の5品目が対象です。
長野県で生産・製造された、味と品質が特に優れたものを認定します。厳しい基準をクリアして認定され、長野県が自信と責任をもってお勧めする品々です。

信州プレミアム 牛肉認定制度

信州プレミアム牛肉は、おいしさを左右する成分の一つであるオレイン酸含有率が一定基準を満たす牛肉を対象とする全国初の制度です。オレイン酸を多く含む牛肉は、口どけが良い上、風味も優れています。信州プレミアム牛肉は、全国238店舗で取り扱っています。とろけるような食感をお楽しみください。

II 「オリジナル」

長野県で開発された品種や生産量が全国シェア上位品目などの「オリジナル」なものです。消費者のニーズを的確に捉え、高い技術開発力で、信州発の農畜産物を食卓にお届けしています。

りんご3兄弟

「りんご3兄弟」は、長野県生まれのおいしいりんごとしてすっかり定着しています。

酸味が少なく甘さが際立つ「シナノスイート」、甘みと酸味のバランスが良い、パリッとした食感の「シナノゴールド」、濃い赤色で甘味が強く果汁が多い「秋映」とそれぞれに特徴があり、売れ行きも好調です。

III 「ヘリテイジ」

「ヘリテイジ」とは、郷土料理や食文化で伝統的・地域固有の価値を有するものです。そば・おやきなど、伝統食や郷土食の維持・保存に取り組み、後世に引き継ぐ努力が続けます。

県では昭和58年から県選抜無形民俗文化財として「味の文化財」を全国で初めて指定し、現在、木曾の朴葉巻など8件となっています。

また、「信州伝統野菜認定制度」を創設し、64種類が選定されています。広い県内では、大根・きゅうり・かぶ・ごぼうなど地域の気候風土に合った野菜が古くから栽培され、今に受け継がれています。

おいしい信州ふーど(風土)宣言



※シードル：発泡リンゴ酒



県では、「おいしい信州ふーど(風土)」を県民全体で共有し、全国に発信していくために次の三つの行動を率先して行うことを宣言しました。

- 一 地産地消運動に積極的に取り組みます。
- 二 県内において「おいしい信州ふーど(風土)」をさらに追求していきます。
- 三 県外や海外の皆さんへ「おいしい信州ふーど(風土)」を積極的に発信し共有(シェア)します。



(デザイン：玉村豊男大使)

県が進める「地産地消」の取り組み

信州を味わう日

第3日曜日(家庭の日)を含む金・土・日の3日間は「信州を味わう日」。家族みんなで新鮮な信州産の農畜産物をおなかいっぱい味わう日です。

信州ふーどレシピ

地域の農畜産物等を利用して開発した加工品や創作ふるさと料理を募集する「信州の味コンクール」などを通じて、県民の皆さまからいただいたおすすめレシピをホームページで紹介しています。
URL: <http://www.oishii-shinshu.net/recipe/>

地産地消キャラクター「旬ちゃん」

旬ちゃんは、各地で行われるイベントや学校訪問を通して地産地消の取り組みを推進しています。街で見かけたら「旬ちゃん〜!!」と気軽に声を掛けてください。



地産地消シンポジウム開催!

11月19日に松本市、20日に長野市で開催。おいしい信州ふーど(風土)大使が地産地消について語ります。

県内外に信州のおいしい農畜産物をアピール

おいしい信州ふーど(風土)大使



「おいしい信州ふーど(風土)」を広く知っていただくために、大使として 玉村豊男さん(エッセイスト)・小泉武夫さん(発酵学者)・中村勝宏さん(シェフ)・鏑塚俊彦さん(パティシエ)を任命し、県内外のキャンペーンで活躍していただいています。



どこで食べよう 「おいしい信州ふーど(風土)」

飲食店紹介サイト「ぐるなび」で「おいしい信州ふーど(風土)」が食べられるお店を検索できます。

ぐるなび おいしい信州ふーど 検索

市町村と一緒にPR

県と市町村が連携して小冊子を作成し、「おいしい信州ふーど(風土)」と地元の食材をセットでPR。イベントなどで配布して、相乗効果を狙います。

問い合わせ先 / 農政部農業政策課農産物マーケティング室 ☎026-235-7217

長野県 高校入試 学力テスト

受験料
1回券 3,500円
第5回からの回数券 16,800円

【申込み受付中!】

第5回... 11/4 日
第6回... 11/25 日
第7回... 12/16 日
第8回... 1/13 日
第9回... 2/10 日



さらに上を目指す!

信学会

長野市南県町1003 ☎026-228-6787
<http://www.shingakukai.or.jp> 詳しくは 信学会テスト 検索

3大特長

- ①入試傾向に沿った出題
毎年、多くの類似問題が入試に出題
- ②答案を組み込んだ個人成績表
弱点領域と志望校内順位が一目でわかる
- ③解説動画をネットで配信
その日のうちに間違えた部分をマスター

広告

地域の輝く活動を ご紹介

地域の特色を活かして活躍する団体やNPO法人を紹介します。

飯田市
NPO法人
くれよん

アイデアを活かして 多彩な事業を展開

「くれよん」は、飯田市で障害者の就労移行支援や生活介護、宅老所、児童デイサービスなどの福祉事業を複合的に行うNPO法人です。特に障害者の経済的自立と社会参加を実現するため、さまざまなアイデアで、新たな就労支援と就労場所を創造し続けています。

「障害者の方々には、仕事の流れ全体を理解した上で取り組んでほしい。多くの人が一つの仕事に携わっている中で、どこが抜けても仕事は完成しない。それが理解できれば責任を持って仕事に取り組むことができるはず。」と理事長の前島さんは話します。

商品の袋詰めや機械部品の一部組み立てなどの企業の下請けではなく、レーザー彫刻によるフォトフレーム、ダイレクトプリンタ等で作るTシャツ

障害者が社会参加しやすい 「まち」をめざして

理事長 前島 光明さん



自分が福祉の仕事をするとは思っていませんでした。ボランティアで養護学校の子どもの体力づくりのお手伝いをしていて、いきなり障害者の方々の支援をしようと平成16年に「くれよん」を立ち上げました。

ツ、古紙利用のペーパーポットの製造販売など、「くれよん」の中で完結できる仕事を幅広く展開している



さまざまな仕事を通じて自立を目指します。

のが特徴です。

「地域のニーズの中で自分たちができることは何かを考えました。」と飯田市との協働で始めたのが、エコ活動への取り組みです。使用済み油からのバイオディーゼル燃料の製造や、ペレットストーブの燃料になる木質ペレットを繰り返し使える袋に詰めて配達する事業などです。

「環境の取り組みは、さらに広げていきたい。」と県の地域発元気づくり支援金を受け、準備を進めているのがトイレットペーパー製造の事業です。

「地域で使用されるトイレットペーパーは、地域から出される古紙で賄えたらと考えています。トイレットペーパーを定期配達しながら、古紙や使用済み油の回収をします。その際に高齢者や障害者の方々の買い物や家の草取り、窓ふきなど「あつたらいいなこんなサービス」に応えたいと考えています。」とこの事業への期待は膨らみます。

「心身や思考に不自由があったり学習や生活、仕事がとてもしづらかったりする人たちが障害者といわれます。つまり、みんなが生きやすく頑張りやすい環境があれば障害者はいなくなるのかもしれませんが。私たちの仕事はそんな環境の「まちづくり」です。私たちNPO法人くれよんの理念は「『よかった』を求めて、なんです。」「くれよん」の取り組みは、ますます広がっていきます。

障害者と企業の双方にメリットがある提案を

「くれよん」から一般企業に就労した障害者で離職した人がいないことは、とてもありがたいことです。従来は、企業のニーズに合ったところでしか障害者は働けなかった。障害者が力を発揮でき、企業さんにもメリットがある提案をしています。その上で、受け入れ先の企業さんにとって働きやすい環境を作ってもらえるかが重要です。」と障害者が働き続けるための支援について前島さんは話してくれました。

※地域発元気づくり支援金
市町村や公共的な団体が、地域の元気を生み出すために住民とともに取り組むモデル的発展性のある事業に対して、必要な経費を県が支援しています。

挑戦する 信州人

ロンドン五輪ボート競技出場 岩本 亜希子 選手

今年の夏、日本中を沸かせ、五輪史上最多のメダル38個という成績とともに幕を閉じたロンドン五輪。長野県関係選手も7人が出場し、感動を届けてくれました。

諏訪市出身の岩本亜希子選手は、ボート競技の「軽量級ダブルスカル」に出場しました。



Profile ◆プロフィール
岩本 亜希子 選手 (34歳)
・ロンドン五輪ボート競技出場
・諏訪市出身
・アイリスオーヤマ株式会社所属

した。何回かのペア替えを経て組むことになった福本温子選手とは年齢差が10歳あり、すでに3回のオリンピックに出場している岩本選手とは経験面からも差がありました。「ダブルスカル」は、選手2人がスカルオールを使って、ゴールまでの所要時間を競う競技。体格や癖の違いのある相手と息をそろえられるかが重要です。ペアとしての信頼関係を築くため、岩本選手から積極的にコミュニケーションを取ったといいます。

準備期間を含めて、常に100パーセントの力を注いで臨んだロンドン五輪では12位と、目標に掲げていた入賞（8位以内）には届かなかったものの、「ベストを尽くせたので満足しています。」と語ってくれました。

すでに15年もの間、世界の第一線で活躍している岩本選手が競技へのモチベーションを



保ち続けてこられたのは、「昔からすごく負けず嫌い、内から湧き出てくる闘志に素直に行動してきた結果。」小さな頃から「強い人」に憧れがあったといいます。ボートを始めたきっかけも、4つ年上のお姉さんが、ボート競技でインターハイ上位入賞するなどトップアスリートとして活躍している姿に影響を受けたから。お姉さんと同じ岡谷南高校へ進学し、地元・諏訪湖でボート競技人生をスタートさせました。

現在は会社のある宮城県に住む岩本選手ですが、ご自身の原点は今でも諏訪湖にあるといいます。今回のオリンピックでは、インターネット配信で初めて岩本選手がボートを漕ぐ姿を観た地元の方が「試合を観て感動した。」と言ってくれたことがなによりうれしかったとか。

これまで全速力で走り続けてきた岩本選手。「これからはそのスピードをちょっとゆるめて、周りにはどんな景色が広がっているのか感じてみたい。」と話してくれました。

広告

長年使用されたクルマは点検・整備を確実に!



「長年使用車両の点検整備」については、整備工場へお問い合わせください!

安全のために年式や走行距離に応じた点検・整備が重要です。クルマは多くの部品から構成されており、使用されている間に各部が摩耗したり、劣化することが避けられません。そのまま使い続けると性能が低下したり、故障の原因となりますので、車両を安全・快適に使用するために、定期点検はもちろん、年式や走行距離に応じた点検・整備「長期使用車両向け点検・整備項目」を実施して、しっかりチェックしてもらいましょう。

クルマの整備には高度な技術と知識が必要です。国が認めた認証工場での定期的な点検・整備を行います。



一般社団法人 長野県自動車整備振興会 長野市西和田1丁目35番2号 ☎026-243-4839
詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.jaspa-nagano.or.jp/>

■連絡先: NPO法人 くれよん ■住所: 飯田市宮ノ上3923-1 ■電話: 0265-24-0904



森の情報掲示板

- 問 = 問い合わせ先
- 申 = 申し込み先
- 知 = お知らせ
- 募 = 募集

お知らせ

誰もが活躍できる協働社会実現フォーラム

新しい公共や県民協働について、さまざまな観点から意見交換や情報発信を行うフォーラムです。

- 開催日：11月18日(日)
- 時間：13時30分～18時30分
- 開催内容：パネルディスカッション
・鎌田實氏による記念講演 など
- 会場：信州科学技術総合振興センター
(長野市信州大学工学部内)
- 申込期限：11月22日(金)
- 問・申企画部県民協働NPO課 ☎026-235-7189
URL: <http://www.npo-scoop.jp/forum/>

長野県青少年健全育成県民大会

県民の皆さん一人ひとりが自分自身の問題として青少年のことを考えてもらうための大会です。

- 開催日：11月10日(土)
- 時間：10時30分～15時
- 開催内容：少年の主張大会最優秀作品の発表
・県内青少年育成団体による活動報告
・平野信州大学教育学部長による講演 など
- 会場：篠ノ井市民会館(長野市篠ノ井御幣川280番地)
- 問・企画部次世代サポート課 ☎026-235-7210

DV防止講演会

- 開催日：11月21日(水)
- 時間：13時30分～15時30分
- 講演テーマ：「DVと子ども、そして性暴力」
・性暴力の問題性、その予防と対応、官民協同でできる事、仙台みやぎの実践から〜

募集

消防団員

- 自分たちの地域を守るため、あなたも消防団員になりませんか。
- 募集は随時行っています。
 - 企業の皆さまは、社員の方々が入団しやすく、活動しやすい環境整備のため消防団活動へのご理解・ご協力をお願いします。
 - 企業及び個人事業主の皆さまに対して、市町村では消防団協力事業所表示制度(県では消防団活動協力事業所応援減税及び入札に関する優遇制度を実施しています)のご活用ください。
- 問・各市町村役場または危機管理部消防課
☎026-235-7182(消防課)

長野以北並行在来線の路線名

- しなの鉄道が信越本線長野～妙高高原間の経営を引き受けるにあたり、地域の皆さまやお客さまに親しみやすい路線名を募集します。
- 募集期間：11月1日(木)～12月28日(金)
 - 応募方法：郵便はがきまたはしなの鉄道のホームページ
(<http://www.shinanorailway.co.jp/>)で次の内容に記入し応募してください。
 - ①路線名 ②理由・説明
 - ③応募者の氏名、住所、電話番号
- 応募者の中から抽選で記念品をお贈りします。
- 問・企画部交通政策課新幹線・在来線企画室
☎026-235-7027
- 問・申しなの鉄道(株) 長野以北開業準備室
☎026-88-00047

- 講師：八幡悦子氏(NPO法人ハーディー仙台代表理事)
- 会場：県庁講堂
- 申込期限：11月9日(金)
- ※託児(要事前申込み)、手話通訳、要約筆記を行います。
- 問・申健康福祉部(こども家庭課) ☎026-235-7099

「レジ袋無料配布中止」を提唱

長野県の豊かな自然環境を守り、地球の温暖化を防止するため、「レジ袋無料配布中止」について県民の皆さまの理解と事業者の皆さまの参加と協力を提唱しています。

- ◆関係者の賛同により、来年春を目途に、食品スーパーを中心に本県全域での実施を目指します。多くの事業者のご参加をお願いします。
- ◆皆ごん、マイバッグを持ちましょう！
- 問・環境部廃棄物対策課 ☎026-235-7181

「ぐるっと信州体験博2012」開催中!

「ぐるっと信州体験博2012」(ぐる信)とは、長野県全体を体験博覧会の会場と見立て、秋の信州の魅力を体験できる147のプログラムをお楽しみいただけるものです。

- 期間：11月30日(金)まで
- 体験プログラムの一覧を掲載した冊子「ぐる信パスポート」を提示することで特典を受けられるプログラムがあります。スタンプリーに参加しプログラムを集めると、もれなくアルクマグッズがもらえ、抽選で「長野県産品」が当たります。



「ぐる信パスポート」は観光案内所です。

長野県観光PRキャラクター「アルクマ」
「アルクマ」がゆるキャラグランプリ(<http://yurugo.jp/>)にエントリー中！応援よろしくお願いします。

ネーミングライツパートナー

- ネーミングライツとは、長野県が所有する施設などの名称に、社名や商品名などの愛称を付けることができる権利(命名権)です。
- 募集期限：11月30日(金)
 - 対象施設：長野県伊那文化会館、長野県動物愛護センター(ハローアマル)、長野県菅平草草栽培試験地、長野県松本平広域公園(アルウィン)またはやまびこドーム単体での応募も可
 - ※併せて対象となる施設のご提案も募集しています(歩道橋などを想定しています)。
- 問・申総務部行政改革課 ☎026-235-7029

長野県立病院看護職員

- 募集職種：看護師および助産師
 - 募集期限：11月28日(水)
 - 申込方法：持参または郵送(郵送の場合は11月28日の消印まで有効)
 - 試験日：12月15日(土)
 - 会場：長野市内
 - 受験資格：
 - ・昭和28年4月2日以降に生まれた方
 - ・看護師免許、助産師免許を有する方または来年度春までに取得見込みの方
 - 採用時期：平成25年4月1日(月)
- 問・申長野県立病院機構本部事務局職員課
☎0120-173-314(採用専用)
☎026-235-7152(直通)

長野県工科短期大学校

- ◆募集学科(2年制)
 - 生産技術科、制御技術科、電子技術科、

※詳しくは公式サイト
(<http://www.shinshu-dc.net/>)をご覧ください。

問・観光部観光振興課 ☎026-235-7254

長野県立歴史館秋季企画展「縄文土器展」

縄文時代の長野県は、八ヶ岳山麓や千曲川流域などに地域色の強い文化が繁栄しました。前期展では、八ヶ岳山麓の美しく力強い縄文土器を展示し、後期展では千曲川流域のダイナミックかつ多様に化する縄文土器の歴史を紹介します。



とって 顔面把手付き土器 (岡谷市海戸遺跡出土)

- 期間：(前期)11月4日(日) (後期)11月10日(土)～12月16日(日)
- 時間：9時～17時(ただし、入館は16時30分まで)
- 観覧料：一般500円、高・大学生250円、小・中学生120円
- 問・長野県立歴史館 ☎026-274-2000

インターネット広報番組をご覧ください



- 毎月第2、4木曜日に新しい話題をお届けしています。
- ※スピノフ番組(毎月第1、3木曜日)も放映中!
- 問・総務部広報県民課 ☎026-235-7054

技術専門校(長野、松本、岡谷、飯田、伊那、佐久、上松)

- 情報技術科
推薦入学試験(後期)
- 募集期間：11月28日(水)～12月13日(木)
 - 試験日：12月22日(土)
 - ◆一般入学試験
 - 募集期間：
 - (前期)平成25年1月11日(金)～25日(金)
 - (後期)平成25年2月27日(水)～3月8日(金)
 - 試験日：
 - (前期)平成25年2月6日(水)
 - (後期)平成25年3月19日(火)
- 問・申長野県工科短期大学校 ☎026-88-39-1111
- ◆募集学科(科目)
[2年制]電気建築設備科、自動車整備科、建築科、メカトロニクス科、情報システム科
- [1年制]機械加工科、電気工学科、画像処理印刷科、ものづくり技術科、生産技術システム科、木造建築科、木工科、木材造形科
- ◆普通課程 一般入校
- 募集期間：11月1日(木)～15日(木)
 - 試験日：11月26日(月)
- 問・申商工労働部人材育成課 ☎026-235-7109

表紙の写真

表紙の写真は、ロンドンパラリンピック陸上競技の日本代表 堀越信司さん(長野市出身)です。視覚障害T12クラス5000mにおいて5位入賞アジア新記録。実業団に在籍し、活躍する堀越選手にご注目ください。

◆足に、カラダにうれしい機能も兼ね備えていて快適♪◆
脱ぎはきしやすい **フラスター付** 滑りにくくて安全 **防滑ソール**
ゆったり楽ちん設計 **幅広3E** 夜道も安心安全 **反射材付**

■ IGM-001 (本革使用) カラー：キヤメル、ブラック、フラッグ 9,975円
■ IGL-101 (本革使用) カラー：ワインレッド、ブラック 9,975円

シューマート全店にて近日発売開始!!

SHOE MART シューマート 長野市稲里町中氷館458番地 ☎026-462-0088(代) <http://www.shoemart.co.jp>

広告 足によみがえる…握るチカラ。 [アイ]のチカラであなたの「歩く」が変わります。

アイグリップウォーカー

効果1 足の指が正しく使えるようになります。
効果2 足に大切な3つのアーチが自然に復元されます。

「握るチカラ」がよみがえります!

素敵な特典をプレゼント!!

6 小谷村 雨飾山湧水

ブナの木が多く、新緑や紅葉が楽しめる雨飾山の登山道沿いに湧き出していて、登山者にも愛されています。
 小谷村観光振興課 ☎0261-82-2001

7 松本市 上高地 清水川

上高地の貴重な飲用水源です。六百山からの豊富な水が小川となり、透明度は抜群。イワナが泳ぐ姿を見ることが出来ます。
 松本市山岳観光課 ☎0263-94-2307

8 大桑村 阿寺溪谷「美顔水」

山を管理していた尾張藩の役人の奥方が、この冷水で洗顔したところ、皆、色白の美人になったとの言い伝えがある湧き水です。
 大桑村観光協会 ☎0264-55-4566

9 阿智村 一番清水

名前の由来は、清内路に入ってから一番目の清水であるからとも、清内路で一番おいしいからとも言われています。かつては旅人に親しまれ、今でも多くの人々が訪れます。
 阿智村清内路支所 ☎0265-46-2001

飲んで知る 信州の名水・秘水

豊かな水環境に恵まれている信州。県では、その中から水質・景観・歴史的価値などを踏まえ「信州の名水・秘水」として、15カ所を選定しています。このうち地域の人たちののどを潤し、大切に守られている9カ所をご紹介します。



5 飯島町 越百の水

中央アルプス越百山周辺で育まれた水と与田切公園の井戸でくみ上げています。軟水で水量は豊富。家庭でもお茶や料理に利用されています。
 飯島町振興公社 ☎0265-86-6780

環境省が選定した「名水百選」と「平成の名水百選」にも県内から7カ所が選ばれています。

「名水百選」

飯田市	猿倉の泉
安曇野市	安曇野わさび田湧水群
白馬村	姫川源流湧水

「平成の名水百選」

飯田市	観音霊水
木祖村	木曾川源流の里 水木沢
松本市	まつもと城下町湧水群
木島平村	龍興寺湧水

※「信州の名水・秘水」選定時に市町村から「飲用実態ありと記載のあったもの」または「ボトル詰めて販売しているもの」を掲載しています。



1 栄村 北野天満温泉湧水

毎分約6トンの大量の水が噴出しており、その様子を見学できる「湧水堂」と、利用者のための水くみ場が設置されています。
 北野天満温泉 ☎0269-87-2892

2 中野市 谷巖寺の井戸「延命水」

高社山の麓にある谷巖寺では、春は1000本を超える桜、夏は色とりどりのアジサイが美しく、水くみに訪れる人を楽しませます。
 中野市環境課 ☎0269-22-2111

3 須坂市 豊丘の穴水

洞窟の奥から湧き出す水。須坂藩主が鷹狩りの休憩場所として利用していたとも伝えられています。
 須坂市生活環境課 ☎026-248-9019

4 川上村 千曲川源流

367kmと日本最長の信濃川(千曲川)。甲武信ヶ岳にその水源があります。原生林に囲まれた源流付近では、真夏でも冷水を味わうことができます。
 川上村企画課 ☎0267-97-2121

信州の名水・秘水

問い合わせ先：環境部水大気環境課 ☎026-235-7176

太陽光発電はサンジュニア

今なら! 国の補助金 + 高額売電

当社の事業が長野県の〔平成24年度自然エネルギー自給コミュニティ創出支援事業〕に選定されました

本社 / 須坂市須坂1595-1 ☎026(215)2600(代) フリーダイヤル0120-150-328 [サンジュニア](#)